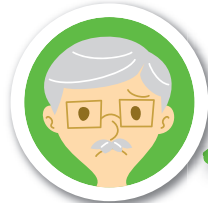


タケモル ピンネット工法



外壁のタイルが老朽化しています! もし剥がれて、通行人にあたってしまったら…。



タケモル ピンネット工法をおすすめします。

- 平滑な塗装下地の形成と、長期にわたる美観の維持が可能です。
- タケモルピンネット工法とは既存モルタル層の剥落防止工法です。
- 既存モルタル層の撤去がないので建設廃棄物をほとんど産出しません。
- 施工後10年の保証と工事施工中、第三者損害保険の適用が受けられるので安心です。
- 建物を選ばない各種工法が強みです。



研磨しているところ



ピンを打ち込んだところ



ピンネット工事 + ウレタン塗膜防水をしました

ラスモルタル壁の第三者機関による検証試験とその結果報告

地震被害によるモルタル外壁の剥落原因

3.11東北震災の被害状況写真



- ① 柔構造と剛構造。接合部周辺で破壊し脱落する。
- ② ジョイント回りの不備。接合部材から外れて脱落しやすい。
- ③ ラスおよび下地の腐食。
- ④ モルタル部分の重量が重すぎる。

ラスモルタル壁落下による火災延焼の問題が大きい

タケモル ラスモルタル補強工法検証試験とその評価

【加振中の動的試験】

目標層間変形角 $\pm 1/50\text{rad}$.



モルタル落下なし

【加振後の動的試験】

目標層間変形角 $\pm 1/50\text{rad}$.



モルタル落下なし

評価

- ① この補強工法は静的試験・動的試験により、鉄骨造建物の外壁ラスモルタル壁の崩落を防止する、**有効な補強工法であることを確認した。**
- ② 建物改修に際し、外壁ラスモルタルを撤去してサイディングで再度外壁を作る場合に比べて、この補強工法は格段に**コストダウンが図れる。**
- ③ サイディング置換などによる大規模改修では、**既存不適格建物や確認申請の提出で実施不可能になることがあるが、この補強工法ではそのおそれがない。**